



# 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,879	△1.5	74	△68.4	80	△67.3	62	△74.3
28年3月期第1四半期	3,940	11.9	236	—	246	—	243	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	3.26	—
28年3月期第1四半期	12.70	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
29年3月期第1四半期	23,235	89.4	20,761	89.4	89.4	1,083.30
28年3月期	24,222	87.4	21,173	87.4	87.4	1,104.79

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 20,761百万円 28年3月期 21,173百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

## 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	3.3	400	△48.3	400	△50.6	150	△78.6	7.83
通期	18,900	0.3	700	△42.0	700	△44.4	300	△70.1	15.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	21,034,950 株	28年3月期	21,034,950 株
29年3月期1Q	1,869,514 株	28年3月期	1,869,514 株
29年3月期1Q	19,165,436 株	28年3月期1Q	19,165,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 追加情報 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期損益計算書関係) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとした新興国や資源国等の経済の減速懸念、為替や株価の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

また、国内レディースインナーウェア市場におきましては、アジア圏における人件費の上昇や原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は「豊かさの追求」を企業理念とし、「女性を元気にする日本一のグループ」に向けて、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現を目指してまいりました。その為に、中期経営計画に基づき、「販売組織の活性化」、「ビジネスメンバーと顧客との接点強化」、「商品開発の強化」、「収益性の改善」、「新規事業の開拓・展開」に積極的に取り組んでまいります。

商品面におきましては、衣料品類では、定番商品として肌にやさしい素材を使用した子供用下着ブランドである「C4U(シー・フォー・ユー)」の全商品をリニューアル発売したものの、既存定番商品は大きく落ち込みました。一方、数量限定商品として新たに接触冷感素材を使用した「冷感敷きパッド」や「冷感ピローパッド」を発売し、また、夏用商品として婦人ナイティやアウターブランドである「シャルレ ドレッセ」より、カットソーやパンツ等を発売するなど、数量限定商品の販売アイテムを増加したことにより、衣料品類全体としては前年並みに推移しました。

化粧品類では、新スキンケアシリーズ「クリアホワイト」を3月に発売しましたが、既存定番商品の売上が伸び悩み、化粧品類全体としては、前年を下回る結果となりました。

健康食品類では、通信販売による「定期お届け便」制度の利用促進を行い、愛用者の拡大を図るとともに、2種類の乳酸菌を配合した加工食品「ラクティブラス」を3月に発売しましたが、既存定番商品の売上が低調に推移したため、健康食品類全体としては前年を下回る結果となりました。なお、健康食品ブランド「ns(エヌエス)」の全商品は、2016年モンド・セレクションのダイエット・健康製品部門において、金賞及び銀賞を受賞しました。

営業施策面におきましては、5月に全代理店を対象とした「第33回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期の経営方針や各種施策等の共有を図り、ビジネス活動の意欲喚起に繋げました。また、ビジネスメンバーの活動促進を目的とした単年度のインセンティブ施策を実施するとともに、外部講師を招き、組織拡大を目的とした教育研修を実施するなどの現場支援に積極的に推進してまいりました。さらに、訪問販売と融合したビジネス活動を推進するために、通信販売サービスである「シャルレダイレクトサービス」の利用促進を目的とした施策やセミナー、利便性向上の活動支援に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は、衣料品類は前年並みに推移したものの、化粧品類の売上が低調に推移したことなどが影響し、38億79百万円(前年同四半期比1.5%減)、利益面につきましては、一部の数量限定商品の売上が低調に推移したことにより在庫評価損が増加し、営業利益は74百万円(前年同四半期比68.4%減)、経常利益は80百万円(前年同四半期比67.3%減)、四半期純利益は62百万円(前年同四半期比74.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加38億15百万円、有価証券の減少44億98百万円、商品の減少2億10百万円等により前事業年度末に比べ9億86百万円減少して232億35百万円となりました。

負債は、買掛金の減少2億74百万円、未払金の減少2億2百万円等により、前事業年度末に比べ5億74百万円減少して24億73百万円となりました。

純資産は、利益配当金4億79百万円、四半期純利益62百万円等により、前事業年度末と比べ4億11百万円減少して207億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の87.4%から89.4%に上昇しました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,250	13,065
売掛金	71	88
有価証券	4,498	-
商品	4,160	3,949
貯蔵品	53	60
繰延税金資産	360	333
その他	213	114
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	18,591	17,597
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,209	1,216
土地	907	907
その他（純額）	279	284
有形固定資産合計	2,396	2,409
無形固定資産		
ソフトウェア	858	870
その他	17	16
無形固定資産合計	875	886
投資その他の資産		
投資有価証券	1,051	1,053
前払年金費用	728	746
繰延税金資産	166	151
その他	419	396
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,359	2,342
固定資産合計	5,630	5,638
資産合計	24,222	23,235

（単位：百万円）

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	811	537
未払金	857	654
未払法人税等	64	21
賞与引当金	292	114
その他	364	518
流動負債合計	2,389	1,846
固定負債		
売上割戻引当金	205	199
退職給付引当金	347	336
その他	105	91
固定負債合計	659	627
負債合計	3,048	2,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,985	13,569
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	21,188	20,771
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△9
評価・換算差額等合計	△14	△9
純資産合計	21,173	20,761
負債純資産合計	24,222	23,235

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,940	3,879
売上原価	1,852	1,958
売上総利益	2,087	1,921
販売費及び一般管理費	1,851	1,847
営業利益	236	74
営業外収益		
受取利息	2	0
有価証券利息	4	3
雑収入	4	3
営業外収益合計	11	7
営業外費用		
支払利息	0	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	246	80
特別利益		
関係会社清算益	-	27
特別利益合計	-	27
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	246	107
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	-	42
法人税等合計	3	45
四半期純利益	243	62

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

特別利益に計上しております関係会社清算益27百万円は、当社の子会社であった香羅奈(上海)国際貿易有限公司の清算において、残余財産の処分の際に発生した清算益であります。